

## P 〔単元の目標〕

- ・クラスの友達に自分のことをよく知ってもらうために、できることやできないことについて聞いたり、自分の考えや気持ちを含めて話したりすることができる。

## D 〔単元の目標の達成に向けた手立て〕

	手立て	資料
①	デジタル教科書の音声機能の活用による単語の発音練習	
②	Jamboardを活用したやり取りの活性化	
③	Formsを活用した振り返り	

## C 〔単元の目標の達成状況〕

- ・やり取りの観察から、約8割の児童が、単元の目標を達成できており、できることやできないことを聞き取るリスニング等のテストにおいても、約8割の児童が80点以上を獲得することができた。

## A 〔改善の方向性〕

- ・ALTと協力し、単語の発音等について適切な評価や指導を行うことにより、児童が自信をもって表現できるようにする必要がある。
- ・児童の興味関心に応じて板書する単語を増やすなど、板書と端末での学習を関連付けて理解の促進を図る必要がある。

## 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

- ①デジタル教科書の音声機能の活用による単語の発音練習
- ②JamboardやFormsの活用

### 〔児童の活動〕

○デジタル教科書の「Word Link」を活用し、音声を聞いて発音したりする。また、ペアで英単語の音声を聞き、日本語訳をどちらが先に言えるか競争する。

○Jamboardの英語文のカッコ内に、英単語を書き入れ文を完成させる。できること、できないことを表すイラストや写真を貼る。



### 〔教師の指導〕

- 児童がデジタル教科書を活用して、単語の発音練習等に取り組めるよう、適切な評価を適宜行う。
- 全体指導で英単語の日本語訳を確認し、訳を理解した上で、再度発音練習するよう促す。

- Jamboardを活用し、自分のできることやできないことをまとめ、表現しやすくさせる。
- 単元の目標の達成を意識させ、Formsを活用して、1時間ごとの到達状況等を振り返らせる。

### 〔工夫点〕

○個の実態に応じて、何度も繰り返し音声を聞くことができるように、いつでも端末を使えるようにしている。

○play、swim、cook など、できることやできないことに使う動詞等の基本的な言語材料を黒板に示している。